

平成22年6月期 第2四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーバ
 コード番号 3836 URL <http://www.diva.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・総務担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日

(氏名) 森川 徹治

(氏名) 野城 剛

TEL 03-5480-7600

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第2四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年6月期第2四半期 | 1,431 | | 29 | | 35 | | 31 | |
| 21年6月期第2四半期 | | | | | | | | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年6月期第2四半期 | 2,728.66 | |
| 21年6月期第2四半期 | | |

- (注) 1. 当社は平成22年6月期第2四半期連結会計期間に子会社を取得したため、平成22年6月期第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。
 2. 当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び当第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年6月期第2四半期 | 2,307 | 1,293 | 56.0 | 111,152.15 |
| 21年6月期 | | | | |

(参考) 自己資本 22年6月期第2四半期 1,293百万円 21年6月期 百万円

- (注) 1. 当社は平成22年6月期第2四半期連結会計期間に子会社を取得したため、平成22年6月期第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。
 2. 当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年6月期については記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年6月期 | | 0.00 | | 2,100.00 | 2,100.00 |
| 22年6月期 | | 0.00 | | | |
| 22年6月期(予想) | | | | 2,500.00 | 2,500.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,420 | | 330 | | 320 | | 190 | | 16,330.04 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

- (注) 1. 当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。
 2. 1株当たり(予想)当期純利益は、第2四半期末発行済株式数を使用して算出しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 株式会社インターネットディスクロー) 除外 社 (社名 ジャー)

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第2四半期 | 11,635株 | 21年6月期 | 11,335株 |
| 期末自己株式数 | 22年6月期第2四半期 | 株 | 21年6月期 | 株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第2四半期 | 11,376株 | 21年6月期第2四半期 | 11,136株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当社は平成22年6月期第2四半期連結会計期間に子会社を取得したため、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

当社は、平成21年11月10日に株式会社インターネットディスクロージャーの全株式を取得したことにより、同社を子会社といたしました。

株式会社インターネットディスクロージャーが開発・販売する開示情報検索システムは、開示書類・会計関連法令等の高速検索・閲覧を可能にし、会計や税務業務に携わるプロフェッショナルに活用されております。今後、当社のシステムとともに日本市場でのIFRSの適用に備えたソリューションの拡充を加速し、お客様企業のIFRSへの対応に貢献できるソリューションを幅広く提案、提供していくこととしております。

これに伴い、当社は当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。

なお、当該子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日として連結財務諸表の作成を開始するため、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結しております。

また、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、定性的情報における前年同四半期累計期間との比較・増減の状況については記載しておりません。

(注) IFRS：国際財務報告基準。国際会計基準と紹介されることも多く以下、IFRSと記載しております。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるソフトウェア・情報サービス産業は、企業業績に回復の兆しが見られはじめたものの、先行きの不透明感は強く、企業のIT投資については、依然として慎重な姿勢が継続しており、投資の抑制・先送りに加え、受注競争の激化等、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような環境の下、当社はソフトウェアによる業務及び経営の効率化・企業競争力の強化を支援し、お客様の要請に応えられる連結経営ソリューションの提案・提供に努めるため、お客様により近く、実行力のあるビジネス・チーム制の組織編制を行い、新たな事業創造のため、専任組織による事業展開及び商品開発・提供を推進してまいりました。

このような状況の下、ライセンス販売は、投資抑制やIFRS導入の検討・見極めのため、新規の大型案件が減少したことに加え、受注競争の激化の影響により、既存のお客様への機能拡張提案に伴うライセンス販売は寄与したものの、245,938千円となりました。

サービス分野におきましても、ライセンス販売の停滞及び大型プロジェクトの収束に加え、一部検収の遅延の発生もあり、既存のお客様への提案強化による受注成果はあるものの、559,946千円となっております。

また、厳しい状況の中、経費削減及び生産性の向上による効率化に努めたものの、IFRS対応のソリューションを提供するための戦略的な支出は継続して実施しており、売上高の減少を十分に補えるには至りませんでした。

この結果、平成21年12月31日現在におけるDivaSystemご利用お客様数は613社となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,431,953千円、経常損失35,891千円、四半期純損失31,040千円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

受注及び販売の状況

(単位：千円[単位未満切捨て])

| 販売区分別 | 当四半期 (平成22年6月期第2四半期連結累計期間) | | |
|---------------|-------------------------------|-----------|---------|
| | 販売実績 | 受注高 | 受注残高 |
| ライセンス販売 | 245,938 | 245,938 | — |
| コンサルティング・サービス | 559,946 | 763,464 | 397,835 |
| サポート・サービス | 626,069 | 571,740 | 463,348 |
| 合計 | 1,431,953 | 1,581,143 | 861,183 |

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,307,473千円となりました。内訳としては、流動資産が1,776,165千円、固定資産が531,307千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,014,218千円となりました。内訳としては、流動負債が845,538千円、固定負債が168,679千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,293,255千円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、1,088,305千円となっております。

新規連結子会社の増加に伴う資金の増加額は、9,685千円となっております。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、172,118千円となりました。

資金の主な増加要因は、減価償却費46,112千円、仕入債務の増加10,905千円等であり、資金の主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失35,891千円、売上債権の増加65,077千円、前受収益の減少57,044千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、55,023千円となりました。

資金の主な減少要因は、無形固定資産の取得44,496千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、62,408千円となりました。

資金の増加要因は、新株発行による収入11,934千円であり、資金の主な減少要因は、ファイナンスリース債務の返済25,307千円、配当金の支払23,803千円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

経済環境は、景気回復の本格化に期待がかかるものの、円高、デフレ懸念等先行きの不透明感は根強く、IT投資の抑制傾向は継続しており、業績目標の達成に向けて当社を取巻く環境は、厳しい状況であると認識しております。

一方、第1四半期から取組んでまいりました組織変更の効果及び新規事業につきましては、リードタイムを必要とするものの、成果につなげ提案力を強化するとともに、従来からの決算早期化に加え、今後のマネジメント・アプローチによる新セグメント会計基準及びIFRSへの対応等、制度会計を超えた経営情報に基づく開示要請に対応し、お客様の連結PDCA(Plan Do Check Action)サイクルの定着による連結経営・競争力の強化に貢献できるグローバル連結経営ソリューションの提供に全力で取組んでいくこととしております。

また、株式会社インターネットディスクロージャーとの経営統合により、同社の開発・販売する開示情報検索システムとともにIFRS基準での連結経営やIR活動のサポートを強化、お客様企業のIFRS対応に貢献できるソリューションを幅広く提案、提供していくこととしております。

これにより、平成22年6月期の連結業績予想を、売上高3,420百万円、経常利益320百万円、当期純利益190百万円としております。

なお、今回の連結業績予想の発表に当たり平成22年6月期の個別業績予想を次のとおり見直ししております。

個別業績予想の売上高の修正は、依然として厳しい経済環境の下、IT・情報投資については慎重な姿勢が継続しており、会計・経営情報分野においては、IFRSによる需要の活性化要因はあるものの、未だ動向の見極め傾向が強く実需への動きは鈍いものとなっており、新規顧客への売上高の減少を見込んだことが主な要因となっております。

また、継続して不要不急の支出を抑え、経費削減及び生産性の向上に努め、その効果を実現することとしており、利益の修正は見込んでおりません。

平成22年6月期通期個別業績予想の修正（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 3,420 | 330 | 320 | 190 | 16,762.24 |
| 今回発表予想（B） | 3,300 | 330 | 320 | 190 | 16,330.04 |
| 増減額（B－A） | △ 120 | 0 | 0 | 0 | － |
| 増減率（％） | △ 3.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | － |
| （ご参考）前期実績 （平成21年6月期） | 3,411 | 319 | 308 | 184 | 16,440.69 |

（注）1株当たり当期純利益は、第2四半期の期末日における発行済株式総数により算定しております。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社インターネットディスクロージャーの全株式を取得し子会社としたため、連結の範囲に含め当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計基準等の改正に伴う変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した受注契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約（収益総額、原価総額及び決算日における進捗度を信頼性をもって見積ることができる受注契約）については工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の受注契約については検収基準を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は53,476千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ19,178千円減少しております。

②会計基準等の改正に伴う変更以外の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | |
|--------------------------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,088,305 |
| 受取手形及び売掛金 | 515,775 |
| 仕掛品 | 96,909 |
| その他 | 75,175 |
| 流動資産合計 | 1,776,165 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | 146,676 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 7,657 |
| その他 | 100,823 |
| 投資その他の資産 | 276,149 |
| 固定資産合計 | 531,307 |
| 資産合計 | 2,307,473 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 支払手形及び買掛金 | 30,196 |
| 短期借入金 | 7,469 |
| 未払金及び未払費用 | 109,933 |
| 未払法人税等 | 4,858 |
| 前受収益 | 486,516 |
| 受注損失引当金 | 7,619 |
| その他 | 198,945 |
| 流動負債合計 | 845,538 |
| 固定負債 | |
| 社債 | 105,000 |
| その他 | 63,679 |
| 固定負債合計 | 168,679 |
| 負債合計 | 1,014,218 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 286,400 |
| 資本剰余金 | 223,200 |
| 利益剰余金 | 785,396 |
| 株主資本合計 | 1,294,996 |
| 評価・換算差額等 | |
| 繰延ヘッジ損益 | △217 |
| 為替換算調整勘定 | △1,523 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,740 |
| 純資産合計 | 1,293,255 |
| 負債純資産合計 | 2,307,473 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 1,431,953 |
| 売上原価 | 749,510 |
| 売上総利益 | 682,443 |
| 販売費及び一般管理費 | 711,495 |
| 営業損失(△) | △29,052 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 269 |
| その他 | 10 |
| 営業外収益合計 | 279 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 2,867 |
| 支払手数料 | 4,180 |
| その他 | 70 |
| 営業外費用合計 | 7,118 |
| 経常損失(△) | △35,891 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △35,891 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 620 |
| 法人税等調整額 | △5,471 |
| 法人税等合計 | △4,851 |
| 四半期純損失(△) | △31,040 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日) |
|--------------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △35,891 |
| 減価償却費 | 46,112 |
| 引当金の増減額(△は減少) | 5,819 |
| 受取利息及び受取配当金 | △269 |
| 支払利息 | 2,867 |
| 支払手数料 | 4,180 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △65,077 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △12,825 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 10,905 |
| 未払金及び未払費用の増減額(△は減少) | △26,982 |
| 前受収益の増減額(△は減少) | △57,044 |
| その他 | △28,506 |
| 小計 | △156,712 |
| 利息及び配当金の受取額 | 269 |
| 利息の支払額 | △2,847 |
| 法人税等の支払額 | △12,828 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △172,118 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,407 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △44,496 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,715 |
| その他 | △4,404 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △55,023 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △14,218 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △25,307 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 |
| 株式の発行による収入 | 11,934 |
| 支払手数料の支出 | △1,013 |
| 配当金の支払額 | △23,803 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △62,408 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △741 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △290,292 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,367,195 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 11,401 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,088,305 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日として連結財務諸表の作成を開始しており、当第2四半期連結会計期間においては子会社の四半期貸借対照表のみを連結しているため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。

「参考資料」

前事業年度末及び前第2四半期累計期間に係る財務諸表

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、当第2四半期連結会計期間の比較期間について、前事業年度末及び前第2四半期累計期間の個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(1) (要約) 貸借対照表

(単位：千円)

| 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日) | |
|--------------------------------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,367,195 |
| 受取手形及び売掛金 | 450,342 |
| 仕掛品 | 58,960 |
| その他 | 77,822 |
| 流動資産合計 | 1,954,321 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | 160,466 |
| 無形固定資産 | 63,490 |
| 投資その他の資産 | 268,838 |
| 固定資産合計 | 492,795 |
| 資産合計 | 2,447,116 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,290 |
| 短期借入金 | 21,687 |
| 未払金及び未払費用 | 127,107 |
| 未払法人税等 | 18,116 |
| 前受収益 | 543,560 |
| 受注損失引当金 | 1,800 |
| その他 | 175,085 |
| 流動負債合計 | 906,648 |
| 固定負債 | |
| 社債 | 115,000 |
| その他 | 89,863 |
| 固定負債合計 | 204,863 |
| 負債合計 | 1,111,511 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 280,400 |
| 資本剰余金 | 217,200 |
| 利益剰余金 | 837,783 |
| 株主資本合計 | 1,335,383 |
| 評価・換算差額等 | |
| 繰延ヘッジ損益 | 222 |
| 評価・換算差額等合計 | 222 |
| 純資産合計 | 1,335,605 |
| 負債純資産合計 | 2,447,116 |

(2) 四半期損益計算書 (前第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 1,888,790 |
| 売上原価 | 804,189 |
| 売上総利益 | 1,084,601 |
| 販売費及び一般管理費 | 826,687 |
| 営業利益 | 257,913 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,773 |
| 営業外収益合計 | 1,773 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 3,955 |
| その他 | 153 |
| 営業外費用合計 | 4,108 |
| 経常利益 | 255,577 |
| 税引前四半期純利益 | 255,577 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 107,000 |
| 法人税等調整額 | △1,825 |
| 法人税等合計 | 105,174 |
| 四半期純利益 | 150,403 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 (前第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| 前第2四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日) | |
|--|-----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 255,577 |
| 減価償却費 | 48,035 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | 26,793 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,773 |
| 支払利息 | 3,955 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △78,107 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 59,059 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △28,580 |
| 未払金及び未払費用の増減額 (△は減少) | △79,605 |
| 前受収益の増減額 (△は減少) | △40,127 |
| その他 | 18,269 |
| 小計 | 183,497 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,773 |
| 利息の支払額 | △3,960 |
| 法人税等の支払額 | △86,687 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 94,622 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △90,942 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,711 |
| その他 | △17,932 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △119,586 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △19,308 |
| リース債務の返済による支出 | △26,026 |
| 社債の償還による支出 | △20,000 |
| 株式の発行による収入 | 11,933 |
| 配当金の支払額 | △20,966 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △74,367 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △99,331 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,370,738 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,271,407 |